



放送部

私たち放送部は顧問の一井先生、前田先生のもと、3年生2名、2年生3名、1年生1名の計6名で活動しています。今は、大会に向けての練習や、6月にある筑紫祭の際に、文化発表で流す映像を皆さんに楽しんでもらえるようなものにする為に、アイデアを出し合いながら作成しています。放送部は校外問わず司会を行ったり、式典時に機材の準備をしたりすることもあるので、放送部としての役目を果たして行きながら、部員一人一人の技術を高めていけるように頑張るので、応援宜しくお願い致します。



野球部

私達野球部は、3年生26名、2年生19名、1年生12名で活動しています。顧問の野田先生、松尾先生、井手先生、安森先生のご指導のもと、1日1日を大切に練習しています。私達は「全力疾走・カバーリング」を徹底し、全てのプレーに全員で、全力で取り組んでいます。そして、私達のスローガンである「下剋上」達成するべく、どんな強豪相手でも最後まで諦めず、甲子園に行きます。私達は筑心会の皆様をはじめとする多くの方々のおかげで野球ができています。この感謝の気持ちの恩返しとして、全力プレーで感動を与えることができたらと考えています。是非、球場に足をお運びいただき、応援していただけると幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

## 在校生のいま 筑紫トピックス 卒業生はいま

### 高瀬 文広 氏

3期

日本赤十字九州国際看護大学 教授

### ハリウッドスターのセリフを翻訳！ 映画関係の書物を多く出版している！



専門は「対人コミュニケーション」ですが、大学では英語や異文化理解教育等を教えています。研究は「対人コミュニケーション」以外に、「映画を利用した英語教育」、そして執筆活動として映画のシナリオを日本語に翻訳したり、映画を使用したテキストを作成したりしています。映画の字幕で有名な戸田奈津子さんとも何度か一緒に仕事をしたこともあります。

西南学院大学(文学部外国語学科英語専攻・E.S.S.クラブ)を卒業と同時に福岡市立福翔高校の英語科教諭として赴任し、福岡女子高校でも教鞭をとりました。高校教師は23年間に及びました。もともと大学生の頃から大学の先生になることを目指していたので、社会人入学をして西南学院大学大学院で文学修士、九州大学人間環境学府で教育学修士という学位を取りました。JRECの研究者公募で、福岡医療短期大学の教授職が出ていたので応募したら合格。着任後は、同じ学園内の福岡歯科大学や福岡看護大学でも英語を教えました。2018年には運よく公募で引っぱり、現在の大学で教授として勤務しています。学生には、「日本の文化を大事にすること」と、『自分が将来したいことを見つけ、それに向かって努力すること』の大事さを話しています。

### 主な出版物

- 高瀬文広(編者・執筆)、名作映画完全セリフ・シリーズ((株)フォーイン・スクリーンプレイ事業部)
- 映画「ナイト・ミュージアム」「チャールズ・エンジェル」「スクール・オブ・ロックス」「アイズ・エイジ」「スタンド・バイ・ミー」「食べて、祈って、恋をして」等多数
- 監修:曾根田健三・寶貴貴之 著者:高瀬文広以下22名「アメリカ映画の名セリフベスト」フォーイン スクリーンプレイ事業部、2015
- 高瀬文広(編者)、「映画で学ぶ英語を楽しむ English Delight of Movie English and TOEIC」ミネルバ書房、2015
- 吉田徹夫、高瀬文広、村里好敬、「映画で楽しむイギリスの歴史」金星堂、2010
- 高瀬文広、秋好礼子「The quarter English series PRACTICFOR THE TOEIC TEST TOEICテストのリスニング・リーディング」南雲堂フェニックス、2004
- 井上永幸・赤野一郎(編者)、高瀬文広等執筆、「ウィズダム英和辞典」三省堂、2003 等多数

### 服部 恵 さん

26期

東京芸術大学卒業 打楽器奏者(パーカッションリスト)

### 音楽を通して人生勉強しております！



私は、打楽器奏者として東京で活動しております。どんなお仕事かという、一つは、ドラマ、CM、映画、歌手のCDのレコーディングのお仕事。依頼が来て、レコーディングスタジオに行き、楽譜を渡され、その場で楽譜を読んで演奏録音するというもの。短時間で何曲も録音ののですが、時間が限られておりなるべく1回で成功する必要があります。録音したものが、テレビ、CDなどのメディアで流れるので、もちろん間違えることはできない！そんな痺れるお仕事です。他には、ミュージカルやゲーム、アニメ音楽の舞台で、また飛鳥などの豪華客船で世界を周るツアーの船内で、歌手などのライブのサポートで演奏するお仕事、そして、吹奏楽の指導のお仕事があります。フリーの打楽器奏者として、多くの現場に関わらせていただいていることで、たくさんの方と出会います。ペーパーコンサートというのも主催しているので、0歳から90歳くらいまで幅広い年齢の方と音楽を通して向き合っている気がします。様々な状況に対応するべく柔軟な考えを持っていること。いろんな物を見て聞いて視野を広げることが心がけております。そして、技術を落とさないよう練習を、演奏をし続けることは力行。それは筑紫高校で教わったことが十分に生かされております。校訓にもありますように、たくましい精神力に育っているなあ、と。(自分というも何ですが...)しかしそれは、自分で育てたのではなく出会う多くの方に育てていただいているのです。日々感謝し続けながら、これからも多くのことを学び続けて行きたいと思っております。皆さんも、ぜひメディアで流れている太鼓の音に耳を傾けていただければ幸いです♪

### Profile

太宰府市出身、東京芸術大学卒業、筑紫高校在学中、県高校文化連盟主催ソロコンテストにて、2年連続グランプリ受賞、2007年 打楽器国際コンクール(ブルガリア) Duo部門1位なしの2位を受賞。特別賞受賞。久石譲ピアノ・ストリートコンサートツアー参加 NHK「The☆Star」久石譲特集にて共演。2008年 日本テレビ開局55年記念企画「アナウンサー・コンチェルト」音楽指導、TV出演。2010年「MARIMBISTAS2010」(メキシコ) 日本代表として招待演奏。2012年 国際打楽器コンクール(イタリア) Vibraphone部門にて1位受賞。「クラシック音楽をより身近に」をモットーに、Jazz・Pops・ラテンなどジャンルを越え、オーケストラメンバー、フリーパーカッションリスト、Vibraphone奏者として活動中。  
【CD作品】「小さな森」"Vibra-cantoBLUE" Megterlink Vibraphone Duo Guitar HP=>https://percussion-meg.jimdo.com

# ご挨拶

## 二十一世紀を築く若人たち



名誉会長(学校長) 松尾 隆一

福岡県立筑紫高等学校同窓会「筑心会」広報誌「筑心」第29号の発行を心よりお祝い申し上げます。また、平素より筑心会の皆様には、本校の教育活動に対し物心両面にわたる御支援を賜り、深く感謝申し上げます。

四月の異動で、糸島高校から赴任してまいりました。前任の大塚校長同様、筑紫高等学校のさらなる発展に尽力してまいります。よろしくお祈りいたします。

本校は今年で創立47年目を迎えます。創立当初から、宝満登山や九重集団キャンプ、寒稽古など、持久力や忍耐力を養成するとともに、「師弟同行(どうぎよう)」の校是のもと、「文武両道」を目指して、生徒と教師がともに汗を流し、信頼と愛情に満ちた学校作りを進めてきました。現在、福岡県が取り組む「鍛ほめ福岡メソッド」が様々な面で実践され、これからの社会を担う「志」を持った骨太の人材育成に取り組んでいます。

進学面では、地元の九州大学をはじめ、多くの国公立大学や私立大学に合格を果たしています。自分にとっての「最難関」にチャレンジすることは、心の成長に大きな意味があります。部活動では、花園全国大会5回出場を誇るラグビー部をはじめ、陸上

部や水泳部も全国大会や九州大会にたびたび出場しています。その他にも昨年だけでも、卓球部、女子バスケットボール部、女子ソフトテニス部、書道部、放送部が県大会出場を果たしました。勉強に熱心に取り組みだけでなく、生徒は学校行事や部活動にも全力を傾け、充実した学校生活を送っています。生徒は学校が大好きで、それは出席率99%という驚くべき数字にもあらわれています。

昨今の教育改革では「学びに向かう力」が重視されています。21世紀を担う若者たちに必要な資質・能力として、正解のない問いに対して「最適な解」を考え抜く力と、多様な考えを持つ仲間と協働して新しい考えを生み出す力が不可欠であると言われています。グローバル化が進み、諸外国の活気あふれた若者と対等に渡り合える人材の育成が、日本の重要な教育課題になっています。

今年新しい元号「令和」が定められました。由来は大宰府で詠まれた「梅花の歌」です。筑紫高校の校章は梅花に大宰府天満宮の神鏡を配したものです。「梅は寒に耐え百花にさきがけて清く香る」と言われ、厳しさに耐え、常に未知のものに挑戦する本校建学の精神を象徴するものです。本校にゆかりのある土地と花から新元号が定められましたことは、筑紫高校にとって世界を担う若者を育て続けよとの使命を改めて課せられたものと心得ています。

同窓生の皆様は地元はもとより国内外で大いに活躍されております。その伝統を未来へと継承してまいりますので、これからも変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。結びに、筑心会の益々の御発展と、会員の皆様の御健勝をお祈り申し上げます。御挨拶いたします。

## 「退任のご挨拶」



同窓会・筑心会前会長 木原 寿

筑心会会員の皆様、ますますご健勝で活躍の事とお喜び申し上げます。また、この度、会長を退任させて頂く事となりましたが、平成の時代を通じて同窓会活動を続けてこれましたのは、筑心会役員、理事役員、事務局同窓職員の皆様はもうろく、学校歴代教職員の皆様、父母教師会、教育振興会など多くの皆様のご協力があったからこそであり厚く御礼申し上げます。思い起こせば平成元年からの東京勤務時代に同窓会活動の立上げに携わり海外勤務で時離れはしましたが、地元福岡に戻ってからも縁あって同窓会活動に携わり、特に平成20年からは、1期生の今村巧児会長から会長を引き継ぎ、在校生のために私たちが出来ることをスローガンに、母校の発展を微力ながら応援させて頂きました。

この30年間、活動を続け得たそのエネルギー源となったのは、「母校への恩返し」の思いに加え、自らを変え続ける事ができる力を師弟同行の元、先生方と或いは友や先輩、後輩らと共に針摺の地で培い、「未来の日本を支える在校生達が万感の思いを込めて歌う校歌を聞けた事」、さらには懇親会場やOB座談会等において、「社会の変化を受けとめ、自ら変化を起こすべく、歩み出す、そんな仲間達と出会う事できたからこそ」であったと考えております。会長退任後も在校生から受ける感動や皆様との出会いを大切に、母校ならびに筑心会の発展に協力して参りますので、皆様方におかれましてもお層の御支援を賜りますようお願いし、私からの退任挨拶とさせていただきます。

さて、筑心会役員は、今年の3月の44回卒業生で1万8千名を超えました。しかしながら御多分に漏れず、筑心会も運営資金に苦慮しております。総会は、総代会と総会懇親会へと形を変えさらに懇親会開催の新聞広告を募集することで、懇親会費用を決算ベースで単独で賄えるようになりました。広報誌「筑心」もペーパー化を視野に入れ大鉈を振るう時期にきています。3年後には創立50年を迎えます。今後とも母校発展のため微力ながら邁進してまいりますので、会員の皆様のご協力をお願いします。

## 「ご挨拶」



同窓会・筑心会新会長 井上 正満

筑心会会員の皆様、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。この度、第5代筑心会会長の任を預かる事となりました。7回卒業の井上正満です。どうぞよろしくお祈りします。

私は、当番幹事の指名を受けたのをきっかけに、その翌年より筑心会理事として活動してまいりました。実は卒業してから当番幹事を受けるまでの間、総会に出席したことさえありませんでした。現在では、在校生のために私たちが出来ることを同窓会の活動テーマに掲げ多くの同窓生に関わっていただけような事業を展開しています。中でも高校2年生に各界で活躍する卒業生20名が自分の職業について語る「OB座談会」は名称をかえながらも今回で15回を数えます。

さて、筑心会役員は、今年の3月の44回卒業生で1万8千名を超えました。しかしながら御多分に漏れず、筑心会も運営資金に苦慮しております。総会は、総代会と総会懇親会へと形を変えさらに懇親会開催の新聞広告を募集することで、懇親会費用を決算ベースで単独で賄えるようになりました。広報誌「筑心」もペーパー化を視野に入れ大鉈を振るう時期にきています。3年後には創立50年を迎えます。今後とも母校発展のため微力ながら邁進してまいりますので、会員の皆様のご協力をお願いします。

# 第43回筑心会懇親会報告

筑紫高校同窓会の皆様、昨年は第43回筑心会懇親会にご参加をいただき、誠にありがとうございました。ご来賓の皆様、お世話になりました先生方をはじめ、全国より268名の同窓生の皆様にご参加いただき、また多方面より多くのご協賛をいただき、盛会のうちに終わることが出来ました。と、22期生当番幹事を代表して心より厚くお礼申し上げます。

第43回筑心会懇親会は、2期、12期、22期、32期、42期の「2」がつく期が幹事として担当しました。今回は「恩師への感謝」と「世代を越えた交流」をメインテーマに掲げました。また22期生の100名出席を目標に掲げ、ゲスト100名で達成することができました。恩師の方々に私たちの成長した姿を見て頂き(22年ぶりにお会いする先生ばかりでした)、改めて感謝の言葉を伝える事ができて本当に幸せでした。せつかくの懇親会なので



たいと考え、たくさんのチームを作ってもらい、在学当時白熱した体育大会や、クラスマッチさながらにクイズに答えたり、筑紫体操を踊ったりと大いに盛り上がる事ができました。皆様の熱気で会場が狭く感じるほどでした。最終笑顔の絶えない懇親会が開催できたのは、準備から当日まで多くのお力添えをいただいたおかげであり、特に、前回幹事の21期の先輩方には、幹事引継ぎから細やかなご助言をいただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。理事会などで訪れた筑紫高校はもとより、準備打ち合わせのための幹事会、再会の場となった懇親会当日、それぞれの瞬間がどれも素敵なものでした。第44回筑心会懇親会は、23期を中心とした当番幹事の皆さんが準備を進めています。筑紫高生に戻れる懇親会で、皆様と再びお会いできるのを楽しみにしています。

平成30年度 当番幹事一同

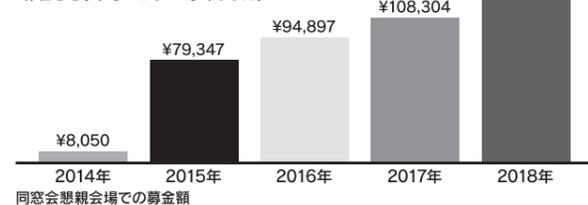
## 同窓生から在校生へ ~在校生を支える支援~

現在、筑心会の予算のほとんどは在校生の同窓会関連費によって賄われています。今後少子化に伴い、在校生の定員数が減少する可能性があり、その場合、現状の在校生支援や同窓会関連行事を執り行うことがより難しくなります。今後、本校はICT化など教育環境の変化が求められ、在校生への支援を行うためには同窓生からの経済的な支援がますます必要不可欠になっていくと考えられます。在校生の学業や部活動を応援するために同窓生皆様のお力をお貸しいただけませんか。

## 夏の筑心会懇親会における募金額

同窓生の皆様からのご支援は、主に「指定金融機関への振込みによる寄付」、「新聞広告協賛」、「筑心会懇親会場での募金」にて受け付けており、下記のように活用させていただいております。

※お陰様で懇親会場での募金額は、ここ数年で大きな存在感を示すものとなって参りました。



## 吹奏楽部活動支援

学校行事、他の部活応援にも活動する吹奏楽部に対し平成13年度創部でOB/OGの数も少ないことから楽器不足への対応やメンテナンス費用をバックアップ。

195万6,730円支給



## 部活力水 筑心demi+

寄付者の指定する部活動・生徒会への寄付金に対し、当該寄付額の最大50%の金額を同窓会から拠出加算し当該部活動、生徒会の活動費に充当する制度です。

- <男子テニス部> 平成27年 3,000円寄付をいただき 4,500円を活動費へ充当
- <男女テニス部> 平成30年度 40,000円寄付をいただき 60,000円を活動費へ充当
- <吹奏楽部> 平成30年度 90,000円寄付をいただき 135,000円を活動費へ充当

## 奨学金制度

10年間で79名に 364万円を支給

経済的困窮のため修学の継続が困難な生徒とのために返済義務のない奨学金制度を実施しております。





第13回関東筑心会開催のお知らせ

私たちの母校も春に47回目の生徒を迎え、前回の関東筑心会では1、2期の先輩方の還暦をお祝いすることができたまでに成長しました。その一方で昨今の社会的な環境も相まつて、母校を取り巻くそれも大きく変化しつつあります。

平成から令和へ。元号も変わり、その節目に卒業生として母校にできることは何かを考えていくところに到達したのかもしれない、という思いで今回のテーマを掲げ、2年に1度の関東筑心会を開催します。どうぞお誘いあわせの上、ふるってご参加ください。

関東筑心会会長 林 剛 (6期生)
第十三回総会幹事長 松野尾晴美 (13期生)
同副幹事長 佐藤 浩行 (11期生)



第13回関東筑心会開催内容

テーマ 「平成から令和へ」
日時 2019年11月23日(土・祝)
講演会/13:30~14:30
総会/15:00~17:00
会場 Cafe Legato
東京都渋谷区円山町3-6
E.Space Tower 15F
TEL 03-5784-2121
会費 講演会/1,000円
(但し34~44期は500円)
総会/6,000円
(但し34~44期は3,000円)
詳細は後日、「関東筑心会Facebookページ」でご案内いたします。

当番幹事紹介

皆さま、こんにちは。今年度、筑心会懇親会の当番幹事を務めさせて頂きます23期生です。よろしくお願致します。

筑紫高校を卒業して早20年以上が過ぎ、今年で40歳となる私たちのもとに当番幹事のお知らせがきたのは昨年の9月のこと。昨年幹事を務められた22期の先輩からの一本の電話からスタートしました。正直、幹事だったことを忘れてしまっていた人、覚えてはいたものの突然の電話に動揺を隠せない人、とうとうこの日が来たかと不安の中で集まりに参加した人、それぞれに戸惑いながらも、なつたからにはやるしかないよねと活動を開始しました。中には、クラス幹事ではなかったにも関わらず友人の誘いで参加してくれ、友のため筑紫高校のためと積極的に活動してくれている人もいます。高校時代には全く話したことがなかった人とも、顔を合わせればやはり同級生。懐かし



第44回筑心会懇親会 当番幹事

- 幹事長 高木 徹 (23期)
幹事 藤野 由香梨 (23期)
安元 章裕 (23期)
池本 夏子 (23期)
永淵 玄 (23期)
藤吉 美幸 (23期)
(藤田)
斉田 誠 (23期)
綿屋麻衣子 (23期)
古賀 拓磨 (23期)
松本 竜 (23期)
森脇 啓子 (23期)
(倉川)
志野 (23期)
城戸 浩 (23期)
(富田)
奈津子 (23期)
児島 浩 (23期)
森 奈津子 (23期)

23期生 当番幹事一同

い話に花が咲き、高校時代に戻ったかのようには賑やかな時間が過ぎていきます。厳しいけれど温かかった先生方、部活のこと、体育祭や文化祭のこと、学食のメニュー……。21年ぶりに入った校舎や校門前の坂道は本当に懐かし、幹事になっていなければこんな体験もできなかったなど不思議な気持ちになります。

こんなふうに懐かし、温かく、楽しいひとときを、筑紫高校同窓生である皆さまの一人でも多くの方に共有して頂くために、私たちは懇親会に向けて精一杯準備を進めているところです。同級生はもちろん、お世話になった先生方や先輩後輩との再会に、日々の生活とは少し離れた空間で素晴らしい時間を過ごして頂けたらと思っています。

懇親会は、8月11日(日・祝)に開催します。お盆前の連休ということ、遠方の方にも参加して頂きやすい日程かと思えます。ぜひ皆さまお誘い合わせの上、筑心会懇親会へご参加下さいますようお願いいたします。

40歳という節目の年にこのような大役を担うこととなりましたが、これも何か縁あつたの縁に感謝しながら懇親会を盛り上げていきたいと考えています。皆さまのご参加を心からお待ちしています。

架け橋プロジェクト

外務省が広報文化外交の一つとして行なっている、対日理解促進プログラム「カケハシ・プロジェクト」に筑紫高校から3名の生徒が参加しました。このプログラムの目的は、「日本と北米地域との間で、対外発信力を有し、将来を担う人物を派遣し、政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘・育成し、日本の魅力等について、被派遣者自ら積極的に発信してもらうことで、対外発信を強化し、我が国の外交基盤を強化する。」というものです。要するに、「小さな外交官」として、日本の魅力発信を担うということです。本校からはこのプログラムに2回生徒を派遣しています。大学入試改革により、英語の発信力が重要になってくる現役生達は、生の英語を学べる場所を積極的に探しています。



OB座談会 講師募集
今年は10月26日(土)開催予定です

OB座談会は、9期生の提案で「在校生のための卒業生が出来ること」をコンセプトに、32期生の夏休み勉強会中の課外授業的な位置付けでスタートし、今年15回目となりました。このOB座談会はその道の大家が大手高所から一方的に話すものではなく、「卒業生が膝を交えて同じ目線で時間を共有する」というスタイルで、全国でもかなり特徴的です。対象の高校2年生にとって、卒業生のこんなことを考えていた、こんな風に進路を決めた、こんな風に仕事を選んだ、そして現在という経験は、同じ高校を卒業した先輩の話であるからこそ、進路選択を真剣に考えるきっかけになっているようです。また近年では、結婚や子育てなど家庭の事情で仕事の第一線を離れている方がその経験も含み話をされることもあり、これからの時代を考える上、とても有意義な内容です。令和の時代を駆け抜ける45期生のために、卒業生の皆様のご協力をお待ちしています。詳細や講師のお申し込みは筑心会ホームページをご覧ください。

24期・4期・14期・34期・44期の皆様、来年は懇親会の当番幹事です

一年に一度、主に8月に開催される「筑心会懇親会」。来年で45回目を迎える筑心会懇親会は、幅広い年代の同窓生が集う一大イベントで、毎年約300名の参加者で大いに盛り上がっています。毎年、当番幹事による趣向を凝らした企画などで、あつという間の時間だったという声も多く挙げられています。来々(令和2年)度は、24期が中心となり、4期生・14期生・34期生・44期生の皆様が当番幹事となります。毎年、当番幹事の代の参加者が多い傾向にあり、名実ともに当番幹事がその年の懇親会を作っていくのです。来年度の運営の参考のためにも、4の付く期生の皆様は、ぜひ今年の懇親会にもご参加いただければ、きっと来年の懇親会の参考になることですよ。お待ちしております！

恩師往来

- 転出
大塚 (信校長)
渡邊 啓明(教頭)
稲田 論(事務次長)
山口 康子(企画主査)
高橋 洋一(地歴公民)
黒岩 正司(商業)
西尾久美子(数学)
増田 健(数学)
林 博雄(英語)
内山 悦子(国語)
吉田 武彦(国語)
天本 美穂(地歴公民)
高島 政光(英語)
豊原 晋一(地歴公民)
富田 陽子(英語)
○転入
松尾 隆一(校長)
野本 準二(教頭)
中山 理砂(事務主査)
柏村 信子(事務主査)
大石 哲生(数学)
西島三子代(国語)
平山 光子(国語)
平塚俊一(英語)
三浦 正志(数学)
上野 康行(地歴公民)
大石 育美(英語)
井手 俊明(地歴公民)
森上 雄貴(地歴公民)
馬渡 洸二(保健体育)
松尾 彬(英語)
河津 辰巳(情報)
(敬称略)

男女バレーボールOB会 2019のお知らせ

2019年8月12日(月・祝)

①OB戦

Table with 2 columns: 時間 (12:00集合 13:00開始), 場所 (筑紫高校)

※次の予定があるため時間厳守

②プレミアム懇親会

Table with 2 columns: 時間 (18:30開宴), 場所 (ロイヤルチェスター福岡 (西鉄春日原駅から徒歩10分))